

静岡県で働く女性医師の皆さんを応援します



平成30年度 事業報告書



目次

1 ご挨拶 1

戸倉 新樹 浜松医科大学皮膚科学講座 教授
谷口千津子 浜松医科大学附属病院
女性医師支援センター 特任助教

2 事業について 3

- ・ 概要
- ・ 取り組み
- ・ メンバー構成

3 実績報告 5

- ・ 事業目標と成果
- ・ 支援に向けての連携体制
 - ・ 大学診療科との連携
 - ・ 県内医療機関との連携
 - ・ 協議会
- ・ 実施状況
 - ・ 啓発活動
 - ・ 交流会（機構との交流会）
 - ・ 学生支援（はまキャリ・講義）
 - ・ 相談窓口の設置
 - ・ センターの活用
 - ・ マタニティ白衣の無料貸出し

4 広報活動・情報発信 23

- ・ ホームページについて
- ・ パンフレットの発行
- ・ メディア掲載
- ・ 講演会・シンポジウム等での発表
- ・ その他

5 アクセス・発行について 28

ご挨拶



センター長挨拶

戸倉 新樹

浜松医科大学皮膚科学講座 教授

ライフイベントは女性医師にとって重要な課題であり、とくに出産、育児は人生の選択そのものです。子育て中の女性医師は長期休職となることが多く、復帰してもパートタイマーとして働くことが多いのが現状のため、特に時間外勤務や夜勤が多い診療科では、出産、育児により現場を去る女性医師が増加しています。ふじのくに女性医師支援センターは、その支援を組織化し、効率を挙げ、実質的なものとする目的に向かって邁進しています。

一方では女性医師支援は、医師不足の解消という目的もあり、浜松医科大学では「静岡周産期医師長期支援プログラム」を文部科学省の事業として平成21年～25年にかけて行っていました。次いで女性医師支援相談窓口設置事業が静岡県の浜松医科大学への補助事業として平成25年から27年まで行われ、続いて現在、浜松医大女性医師支援センターは、静岡県のふじのくに女性医師支援センターとしても機能しています。出産後の女性医師の復帰は、静岡県の医療にとっても実現すべき重要な目標ですので、出産後早期の職場復帰をサポートし、非常勤医師の常勤化を促していきたいと考えています。

復帰にとって、情報の集積と発信は大きなツールとなるため、県内のどういう病院がどういう条件で女性医師の復帰を行っているか、また勤務形態は斟酌されているか、と言った情報を集積するために、センターでは谷口医師を中心に県内病院を訪問しています。最終的にはウェブシステムで得ることができれば、情報収集のための努力を省略することができるのですが、その前段階の活動をし、大きな成果を挙げつつあります。子育て支援についても、女性医師支援センターは、認可保育園などの情報収集と発信、育児のためのスペースの提供、病児病後時保育の運営など重要な役割を担っているため、こうした活動が広く県内に拡大することを次のステップとしていきたいと考えています。そのためにも病院内外において、情報交換や体験談に基づく講演などを企画しており、その情報や成果も提供しています。また浜松医大附属病院には女性医師支援センターの非常勤医師枠による雇用も稼働し、常勤医員でも活用可能となっています。

同じ問題や悩みを抱える女性医師が頼る場となることがふじのくに女性医師支援センターの目指すところです。対象女性医師が気軽にしかも実質的に利用できるようなプラットフォームを理想と思い描いています。

専任医師挨拶



谷口 千津子
浜松医科大学附属病院
女性医師支援センター 特任助教

現在日本国内就業している医師のうち、20歳代、30歳代の女性医師の割合は特に増加傾向がみられています。これらの女性医師の中には結婚・出産・子育てを通じてキャリア形成やその維持について、また育児や子供の教育に関わる母親として仕事と家庭のありかたを悩み、選択を迫られる人が少なくありません。静岡県内においても同様に医師の少ない地域にあって、自身のキャリア形成と育児・家庭生活の両立に悩みながら、日々努力を続けている女性医師が多く見られます。

平成29年4月から開設した「ふじのくに女性医師支援センター」は妊娠中・育児期であっても、ご自身の家庭環境に合わせた就業環境を整えていけるような様々な情報をワンストップで提供し、家庭生活を充実させつつキャリアを積んでいけるような就業支援活動、子育て支援活動を静岡県内の医療機関や浜松医大と連携して行っています。

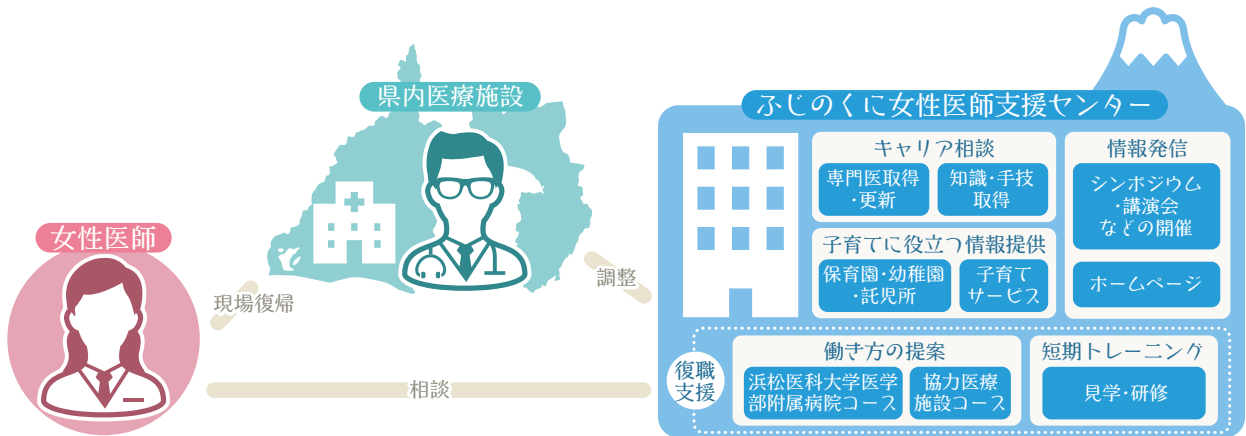
2年目を迎えた平成30年度は昨年度に引き続き県内医療施設や浜松医科大学各診療科と情報を共有し、連携していくための訪問活動を行い、県医師会・県立病院機構と協力して女性医師を対象とした講演や交流会を開催してきました。本年度は更に復職を目指した女性医師に対して個々の状況に合わせた相談と医療機関との連携による復職支援を行って参りました。地域的に様々な背景がある医療施設との連携や現場の女性医師に対し、センターの周知を目的とした活動の難しさを実感する一方、妊娠中や産休中に相談に来られ復職に向けて意欲を見せつつも、不安を多く抱えている先生方の話を伺って、これからの女性医師支援センターのあり方が見えてきた一年となりました。来年度以降もコーディネーターとして出来るだけ多くの方のお役に立てるような活動を考えていきたいと思っております。

これからも「ふじのくに女性医師支援センター」の活動にご理解とご協力をよろしくお願い致します。

事業について

活動概要

県全体の女性医師支援を推進する「ふじのくに女性医師支援センター」を設置し、これまでの普及啓発、情報発信を中心とした支援に加え、出産等により離職した女性医師からの就業相談、求人病院とのマッチング、キャリア形成支援、病院訪問による離職医師の情報収集など、より実効性の高い取組を積極的に実施することにより、女性医師が県内で更に活躍する仕組みを構築します。



取り組み

キャリアサポート

①キャリアコンサルタント

出産・育児や介護などライフイベントによる医師としてのキャリア継続の不安をお持ちの方や、休職中の方、復職を考えている方へキャリア支援のためのコンサルティングを行っています。

②復職支援

それぞれの状況に合わせた、働き方の提案を行っています。浜松医科大学をはじめ、県内の医療施設と連携し、スムーズに復職ができるようサポートします。

- 1) ワーキングコース ■浜松医科大学医学部附属病院コース ■協力医療施設コース
- 2) 短期トレーニングコース ■見学コース ■短期研修コース

③啓発活動

静岡県医師会・浜松医科大学と共催で講演会やシンポジウムを開催しています。

これから医師を目指す人、現在働いている先生、病院の管理者の先生方が情報共有できるようイベントを通して情報発信をしています。

両立サポート

- ①情報提供（子どもの預け先、育児サービス等）
- ②マタニティ白衣の無料レンタル

構成メンバー

ふじのくに女性医師支援センター

区 分	内 容
開 設 日	平成29年4月3日(月)
開設場所	浜松医科大学医学部附属病院(病院棟5階 503号室)
組織体制	センター長 戸倉 新樹(浜松医科大学医学部附属病院女性医師支援センター長) コーディネーター(専任医師) 谷口 千津子(浜松医科大学医学部附属病院女性医師支援センター特任助教) コーディネーター(専従事務員) 袴田 菜穂子(浜松医科大学医学部附属病院女性医師支援センター)
時 間	午前9時から午後5時まで

女性医師支援連絡協議会

区 分	内 容
目 的	センターの運営が、設置の趣旨に沿って効果的に行われるようにするため、女性医師支援連絡協議会を設置
協議委員	会長 鶴田 憲一 静岡県理事(医療衛生担当) 委員 奈良 雅文 静岡県健康福祉部医療健康局技監 委員 角嶋 直美 静岡県立静岡がんセンター内視鏡科医長 委員 野々木 宏 静岡県立総合病院安全衛生監兼集中治療センター長 委員 戸倉 新樹 浜松医科大学医学部附属病院女性医師支援センター長 委員 小林 利彦 静岡県医師会理事 委員 谷口千津子 浜松医科大学医学部附属病院女性医師支援センター特任助教

実績報告

事業目標と成果

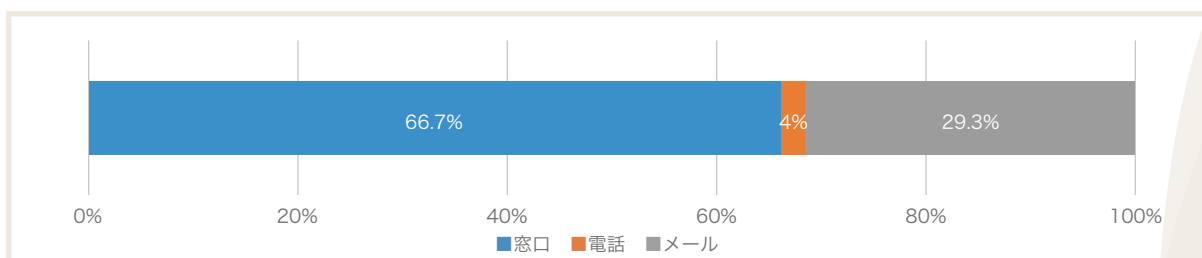
①相談事業について

区分	目標件数	実績件数
就業相談	50 件	160 件
キャリア形成相談	20 件	29 件

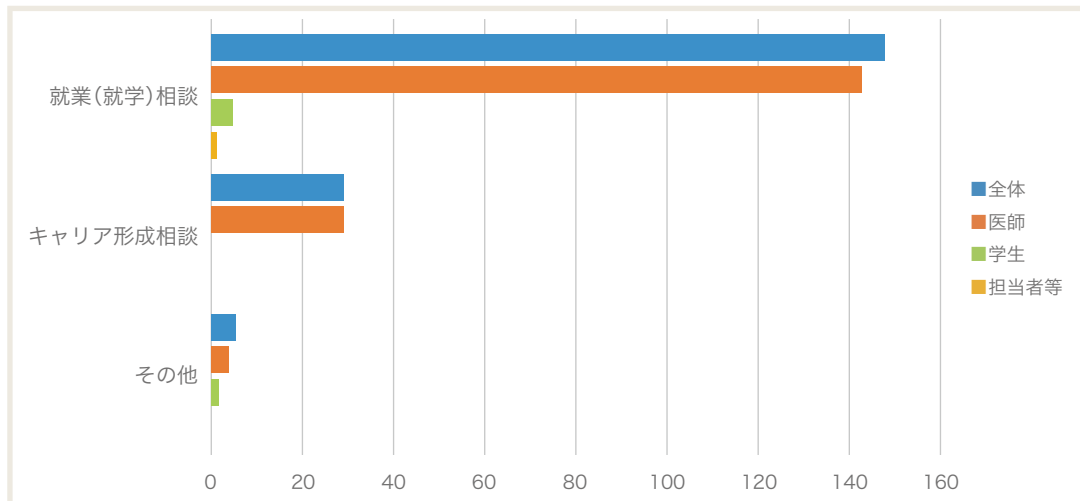
相談者数内訳：相談者数 **34 名** (医師 30 名、医学生 2 名、管理者等 2 名)、相談回数 **75 回**

区分	診療科	医師				学生	担当者等
		卒後 5 年未満 (30 年～ 27 年)	卒後 5 年～ 10 年未満 (26 年～ 23 年)	卒後 10 年～ 15 年未満 (22 年～ 19 年)	卒後 15 年以上 (19 年以降)		
医師	内科	1	1		1		
	精神科				1		
	小児科		2				
	外科				2		
	皮膚科		1	1			
	眼科				1		
	耳鼻咽喉科		1				
	産婦人科	1	6	3	2		
	放射線科		1	1			
	麻酔科				1		
	形成外科				1		
	病理診断科				1		
	学生					2	
管理者等						2	
合計 34 名		2	12	6	10	2	2

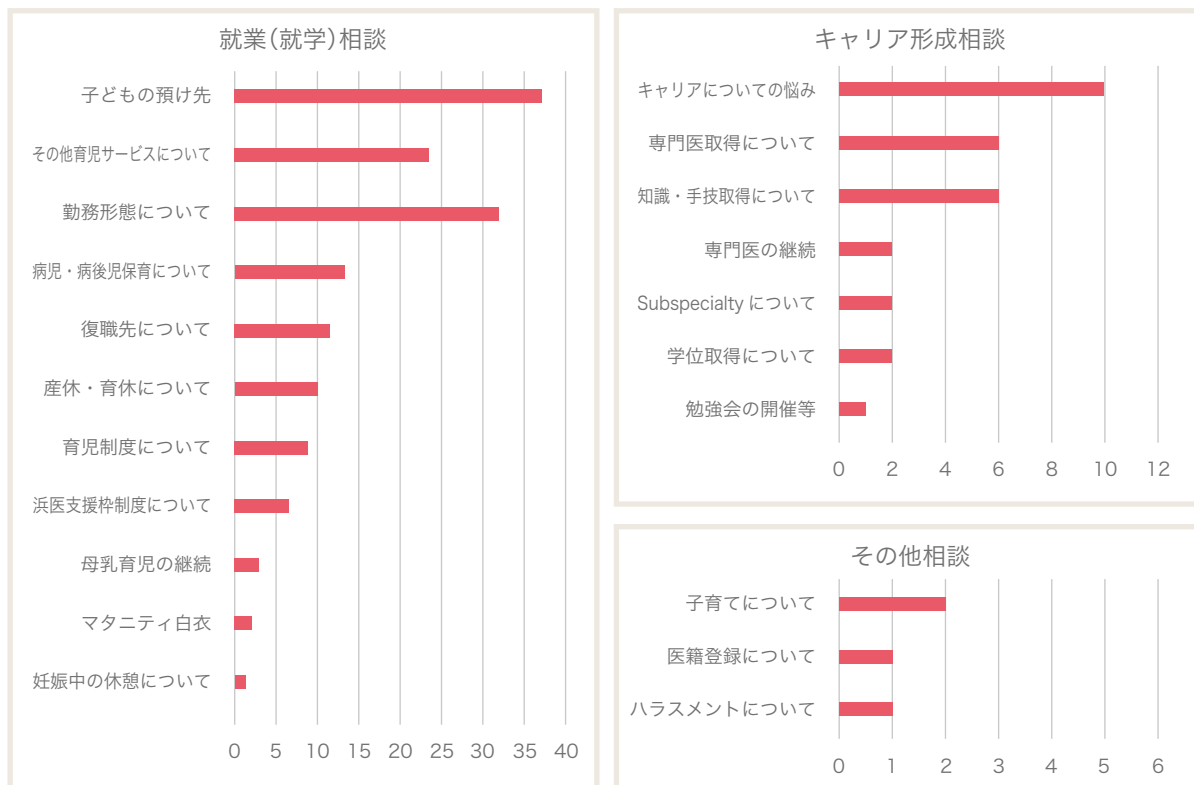
相談方法



相談項目別（※ 1 回の相談において複数の項目が該当する場合あり）



相談内容内訳（※ 1 回の相談において複数の項目が該当する場合あり）



②復職プログラム作成、運用について

区分	新規プログラム作成	プログラム運用
目標	4 診療科	5 名
実績	4 診療科	5 名

新規プログラムの作成については脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、救急科の 4 診療科より 5 プログラムを提示頂きました。

プログラムの運用について今年度は 5 名の方のプログラムを作成し復職支援を行いました。うち 1 名の方は浜松医科大学女性医師支援枠を利用して復職しており、1 名は次年度より女性医師支援枠制度を利用して復職予定です。

平成 30 年度復職支援者一覧

診療科	人数
精神科	1 名
産婦人科	3 名
形成外科	1 名
合計	5 名

勤務先一覧 (H30.2 現在の勤務先)

診療科	浜松医科大学	その他医療機関	調整中
平成 29 年度	1 名	1 名	
平成 30 年度	3 名		2 名
合計	4 名	1 名	2 名

③大学内診療科、県内医療機関等への訪問等について

訪問施設等の詳細は P9 ~ P11 をご覧ください。

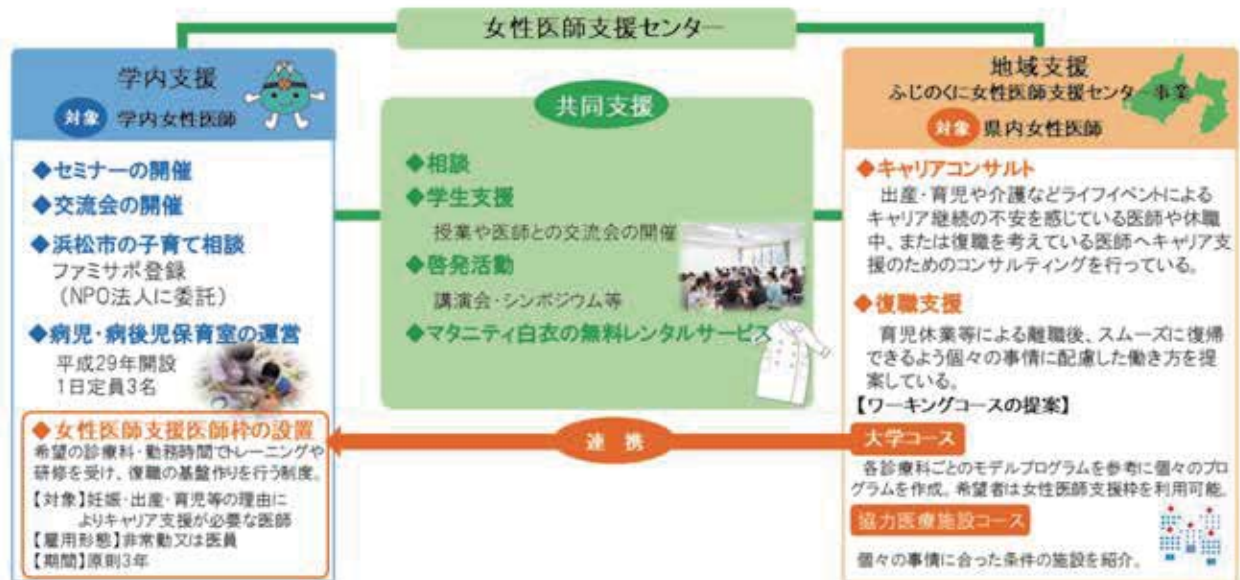
区分	浜松医科大学	その他医療機関
大学内診療科	20 施設	20 施設
その他医療施設	20 施設	20 施設

支援に向けての連携体制

大学診療科との連携

①大学との連携、組織図

ふじのくに女性医師支援センターは静岡県の委託事業として浜松医科大学が中心となり取り組んでいます。学内支援では大学女性医師支援センターが主体となり、学内女性医師を対象に病児・病後児保育室の運営やイベントを行っています。地域支援ではふじのくに女性医師支援センターが主体となり、県内全域の女性医師を対象に各医療施設と連携して就業・キャリアに関する幅広い支援を行っています。



②診療科訪問・復職トレーニングモデルプログラムの作成依頼

20 診療科を訪問し、事業の報告と「復職トレーニングモデルプログラムの作成を依頼しました。うち、今年度は新規で4 診療科より5 プログラムの提示がありました。現在、47 プログラムが浜松医科大学女性医師支援センターホームページより閲覧可能です。

※復職トレーニングプログラムとは出産や育児で一時的に臨床の第一線から離れざるを得なかった女性医師に対して、キャリア継続支援を目的として作られた就業計画書です。

浜松医科大学女性医師支援センターホームページ

<http://www2.hama-med.ac.jp/w1b/woman/index.html>

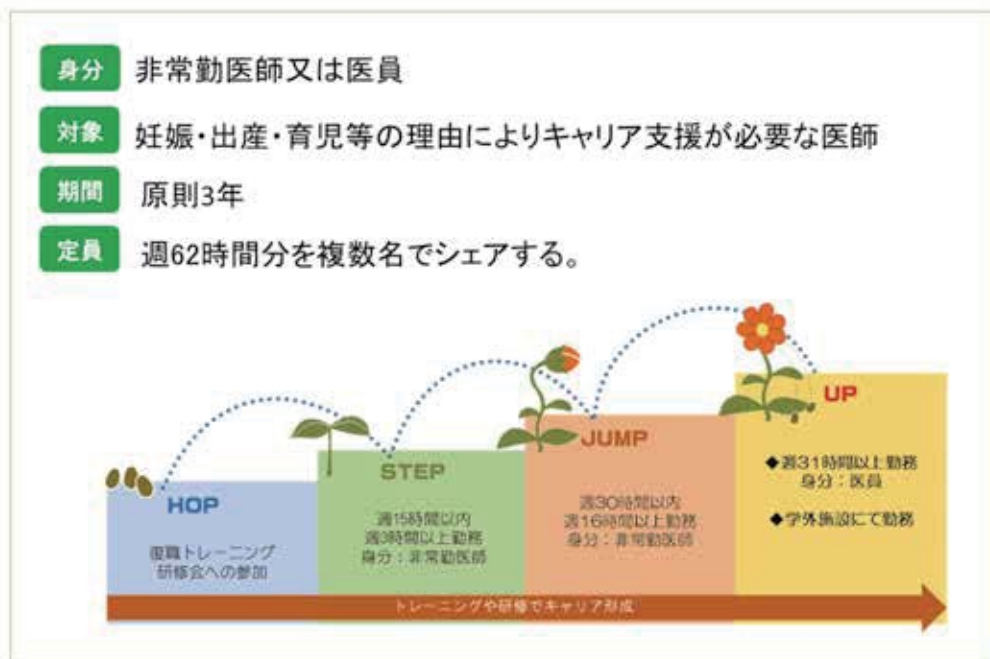


診療科訪問一覧

診療科	日程	プログラム数	診療科	日程	プログラム数
第一内科	1月11日(金)	3	泌尿器科	3月3日(水)	1
第二内科	5月2日(水)	6	眼科	4月25日(水)	1
第三内科	3月19日(火)	6	耳鼻咽喉科	5月2日(水)	1
精神科	11月13日(火)	3	産婦人科	9月14日(金)	3
小児科	1月11日(金)	6	放射線科	5月1日(火)	4
第一外科	3月6日(水)	5	麻酔科	1月9日(水)	1
第二外科	12月7日(金)	—	リハビリテーション科	4月17日(火)	1
脳神経外科	10月23日(水)	1	形成外科	9月25日(火)	1
整形外科	10月23日(水)	2	病理診断科	10月17日(水)	—
皮膚科	3月19日(火)	1	救急科	12月14日(金)	1
プログラム合計					47

③浜松医科大学女性医師支援枠の活用

常勤として勤務が困難な女性医師を含め、離職を避けるために、浜松医科大学女性医師支援センターにて採用枠を設け、医員または非常勤医師として雇用します。支援枠を利用している期間は希望の診療科でトレーニングや研修を行い、非常勤の医師は常勤医として大学または県内医療機関で復職できるよう基盤作りを行います。この制度を活用しながら大学で復職希望の医師をサポートしています。



申込みの流れ



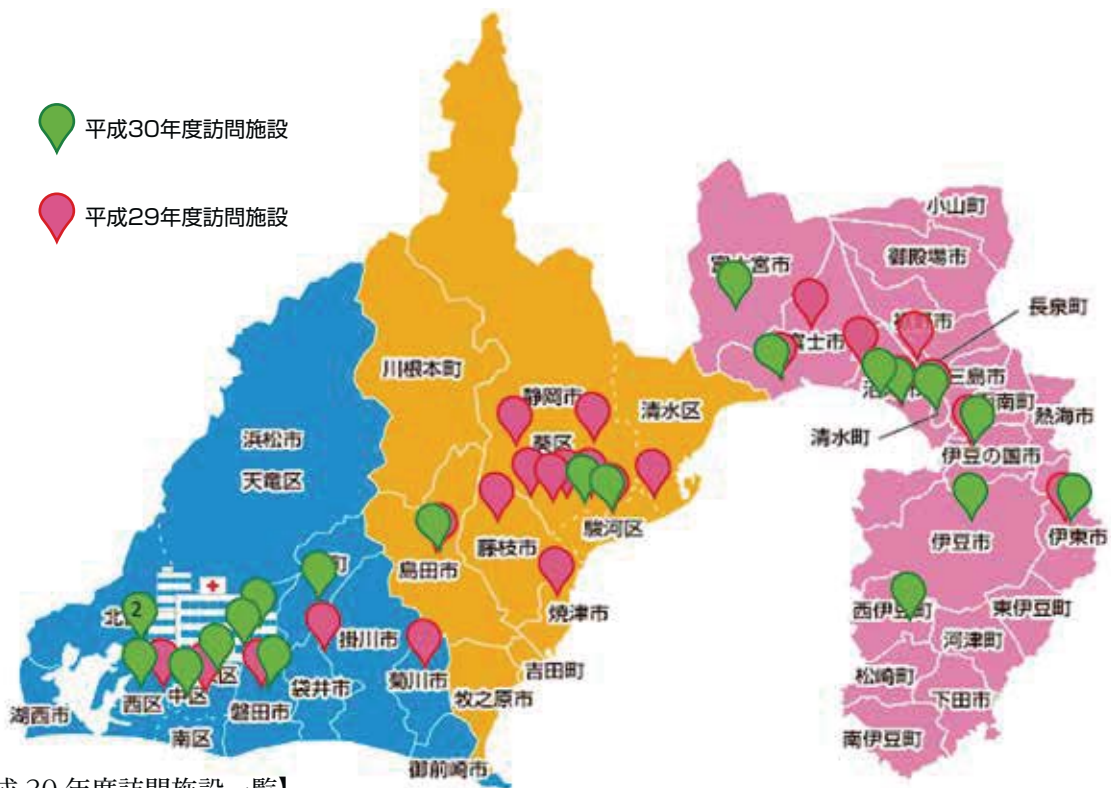
1. 利用希望者はエントリーシートに記入をし、勤務開始希望月の3ヶ月前までにセンターに申請をしてください。
2. エントリーシートに沿って現状や希望する勤務内容の確認を行います。
3. センター長と診療科担当医が申請の受理について検討します。
4. 採用となった場合は就業に関する具体的な内容について最終確認を行います。
5. 希望月より就業を開始します。

県内医療機関との連携

①訪問・協力依頼

県内の公的医療機関等は18施設、その他医療施設を2施設訪問しました、各病院長・担当医師・担当事務と面談し、下記について依頼しました。

- ①事業への協力（復職支援協力医療施設としてホームページに登録）
- ②院内の女性医師数等の情報提供
- ③院内での周知活動（チラシ・パンフレットの配布）



【平成30年度訪問施設一覧】

西 部 (8 施設)	中 部 (3 施設)	東 部 (9 施設)
磐田市立総合病院	静岡赤十字病院	西伊豆健育会病院
公立森町病院	静岡済生会総合病院	伊東市民病院
国立病院機構天竜病院	島田市民病院	静岡医療センター
浜松医療センター		沼津市立病院
浜松赤十字病院		伊豆赤十字病院
JA静岡厚生連遠州病院		順天堂大学医学部附属静岡病院
聖隷三方原病院(2回)		聖隷沼津病院
十全記念病院		富士宮市立病院
		富士市立中央病院

②復職支援協力医療施設

復職支援協力医療施設とは下記の全ての条件を満たす施設です。

- ◆ 仕事と家庭を両立するための支援制度がある。
- ◆ 専門医取得や更新を目指した就業支援が可能である。
- ◆ ふじのくに女性医師支援センターのホームページに復職支援協力医療施設として情報を登録していること。
また、センターのバナーを施設のホームページに貼ることが可能である。
- ◆ ふじのくに女性医師支援センターの活動に協力が可能な施設であること。

ホームページでは結婚・育児等で休職中の女性医師や家族の転勤に伴い県外から転居してきた女性医師が離職することなく、スムーズに勤務継続ができるよう復職支援協力施設の検索や閲覧できます。現在のホームページの登録施設数は19施設です。

地域で検索（複数選択可）	
<input type="checkbox"/> 賀茂	<input type="checkbox"/> 下田市 <input type="checkbox"/> 河津町 <input type="checkbox"/> 松崎町 <input type="checkbox"/> 東伊豆町 <input type="checkbox"/> 南伊豆町 <input type="checkbox"/> 西伊豆町
<input type="checkbox"/> 熱海伊東	<input type="checkbox"/> 熱海市 <input type="checkbox"/> 伊東市
<input type="checkbox"/> 駿東田方	<input type="checkbox"/> 伊豆市 <input type="checkbox"/> 伊豆の国市 <input type="checkbox"/> 沼津市 <input type="checkbox"/> 三島市 <input type="checkbox"/> 裾野市 <input type="checkbox"/> 沼津町 <input type="checkbox"/> 清水町 <input type="checkbox"/> 長泉町 <input type="checkbox"/> 御殿崎市 <input type="checkbox"/> 小山町
<input type="checkbox"/> 富士	<input type="checkbox"/> 富士宮市 <input type="checkbox"/> 富士市
<input type="checkbox"/> 静岡	<input type="checkbox"/> 静岡市清水区 <input type="checkbox"/> 静岡市葵区 <input type="checkbox"/> 静岡市駿河区
<input type="checkbox"/> 浜北横浜	<input type="checkbox"/> 浜松市東区 <input type="checkbox"/> 浜松市中央区 <input type="checkbox"/> 浜松市南区 <input type="checkbox"/> 浜松市北区 <input type="checkbox"/> 浜松市西区 <input type="checkbox"/> 浜松市天竜区
診療科で検索（複数選択可）	
<input type="checkbox"/> 中東進	<input type="checkbox"/> 内科系 <input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 内分泌・代謝内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input type="checkbox"/> 肝臓内科 <input type="checkbox"/> 循環器内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input type="checkbox"/> 免疫・リウマチ内科 <input type="checkbox"/> 精神科神経科 <input type="checkbox"/> 小児科 <input type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> 放射線科 <input type="checkbox"/> 病理診断科 <input type="checkbox"/> 検診 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 西部	<input type="checkbox"/> 外科系 <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 乳腺外科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科 <input type="checkbox"/> 眼科 <input type="checkbox"/> 麻酔科麻酔科 <input type="checkbox"/> リハビリテーション <input type="checkbox"/> 緩和ケア科
支援内容で検索（複数選択可）	
仕事と家庭の両立に配慮した就業環境	
<input type="checkbox"/> 抱乳室常設制度 <input type="checkbox"/> フレックスタイム制 <input type="checkbox"/> 診療科による原簿の事情等による急な勤務変更へのバックアップ体制 <input type="checkbox"/> 当番の免除 <input type="checkbox"/> 院内保育室 <input type="checkbox"/> 育児保育 <input type="checkbox"/> ベビーシッター費用補助 <input type="checkbox"/> 育児短時間制度（期間有） <input type="checkbox"/> 学童保育（長期休暇時のみ開設） <input type="checkbox"/> 育児休業・介護休業中の給与を保障	<input type="checkbox"/> 非常勤勤務制度 <input type="checkbox"/> 夜間オンコール免除 <input type="checkbox"/> 提携（院外）保育室 <input type="checkbox"/> 産後児保育 <input type="checkbox"/> 育児休業・介護休業等、長期休暇取得後の意地遣い <input type="checkbox"/> 学童保育（常時開設） <input type="checkbox"/> 育児休業取得条件有り <input type="checkbox"/> 不妊治療休暇
スムーズな臨床現場復帰に配慮した就業環境（生涯学習への配慮）	
<input type="checkbox"/> 女性医師支援部門設置 <input type="checkbox"/> 学会・研究会参加への補助 <input type="checkbox"/> 文献検索・インターネットアクセスの整備	<input type="checkbox"/> 復帰前の短期トレーニング（見学会等） <input type="checkbox"/> 図書館の整備

【ホームページ登録施設一覧】（平成31年3月20日現在）

西 部	中 部	東 部
磐田市立総合病院	静岡県立こころの医療センター	静岡医療センター
浜松医療センター	静岡赤十字病院	富士宮市立病院
JA厚生連遠州病院	JA静岡厚生連静岡厚生病院	富士市立中央病院
聖隷浜松病院	静岡徳洲会病院	池田病院
聖隷三方原病院	市立島田市民病院	
浜松赤十字病院	藤枝市立総合病院	
木村産科婦人科	医療法人清仁会日本平病院	
坂の上ファミリークリニック		

登録がお済でない医療施設はふじのくに支援センターホームページ TOP → 復職支援情報 → 復職支援協力医療施設登録より簡単に登録が可能です。是非ご協力をお願いします。

医療施設名 (必須)	<input type="text"/>
ふりがな (必須)	<input type="text"/>
病院規模 (病床数) (必須)	<input type="text"/>
担当者メールアドレス (必須)	<input type="text"/>
担当者メールアドレス (確認) (必須)	<input type="text"/>
住所 (必須)	〒 <input type="text"/> - <input type="text"/> 半角で入力してください (住所自動入力) <input type="text"/>
連絡先 (電話番号) (必須)	<input type="text"/>
ご担当者名 (必須)	<input type="text"/>
貴院ホームページアドレス	http:// <input type="text"/>
	内科系 <input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 内分泌・代謝内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input type="checkbox"/> 肝臓内科 <input type="checkbox"/> 循環器内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input type="checkbox"/> 免疫・リウマチ内科 <input type="checkbox"/> 精神科神経科 <input type="checkbox"/> 小児科

③ 順天堂大学医学部附属静岡病院との連携

東部地域において女性医師支援の充実を図るため若手医師が多く在籍する順天堂大学静岡病院にて女性医師3名と座談会を行いました。座談会の様子は順天堂大学静岡病院の広報誌にて掲載され、県内医療機関に配布をしました。



平成30年度女性医師支援連絡協議会

支援センターの業務遂行の円滑化を図るため、女性医師支援連絡協議会を設置し、協議会を年2回、開催しました。

第1回女性医師支援連絡協議会

会期	平成30年6月8日(金) 17:30～19:00
場所	静岡県庁 西館4階第1会議室
出席者	出席者6名、その他関係者6名

【議題】

- (1) ふじのくに女性医師支援センターの運営における課題と対応
- (2) 平成30年度ふじのくに女性医師支援センター事業の目標値の設定について
- (3) 女性医師支援担当者 交流会の開催について
- (4) 相談会の開催について
- (5) 復職プログラムの運用について
- (6) シンポジウム等の共催について

第2回女性医師支援連絡協議会

会期	平成30年3月19日(火) 10:30～12:00
場所	静岡県庁 西館4階第1会議室
出席者	出席者7名、その他関係者7名

【議題】

- (1) 平成30年度 ふじのくに女性医師支援センター事業実績及び平成31年度
ふじのくに女性医師支援センター事業計画について
- (2) 平成30年度 県立病院機構事業実績について
- (3) 女性医師支援連絡協議会 次期委員について

【報告事項】

- (1) 都道府県女性医師等キャリア支援連絡協議会について

一般社団法人全国医学部長病院長会議(AJMC)では厚生労働省の委託事業として、女性医師が働きやすい労働環境の整備の充実を図ること目的として、「女性医師等キャリア支援モデル全国展開事業」を実施することとなりました。その事業の一環として静岡県においては浜松医大を幹事大学として「都道府県女性医師等キャリア支援連絡協議会」を設置開催する旨の依頼を受けました。この協議会は浜松医科大学担当者、県担当者、県医師会担当者、県立病院等の担当者から構成され、女性医師等のキャリア支援モデルを普及推進するための意見交換を目的としています。現在県を中心として開催されている「女性医師支援連絡協議会」と会議の目的が重なるため委員会の同意を得て、協議会の検討内容を「都道府県女性医師等キャリア支援連絡協議会」として報告すること致しました。

実施状況

啓発活動

医学生・医師・管理者の先生方が情報共有を目的に静岡県医師会・浜松医科大学・静岡県立病院機構と共催で講演会や交流会等のイベントを開催しました。

◀ ロールモデル講演会 ～パートナーと育むワーク・ライフ・シナジー～ ▶

日時	平成30年9月28日(金)
会場	浜松医科大学多目的ホール
参加者	学生18名、医師25名、 医師会2名、その他4名

【概要】

今回も3名の先生方にそれぞれの状況や工夫等をご講演頂きました。

牧野洋先生は麻酔科の医局長として、男女問わずライフステージに合わせた多様な働き方ができるよう工夫をされているそうです。フルタイム医師から不満が出ない様、アルバイトの割り振りや医局内の啓発活動にも力を入れており、自利利他の精神を大切にしているのが伝わりました。

細川久美子先生は共に同じ職場・診療科の旦那様と協力して、3人のお子さまを育てながら米国留学を経て、浜松にてフルタイム勤務をされています。夫婦同科のメリット・デメリット、時短家電、お弁当を作ってくれるようになったお子様の紹介や、ライフステージに合わせて、仕事と家庭の充実を積極的にマネージメントしていることをお話頂きました。

鈴木希央先生はなんと、5人のお子さまがいらっしゃるご家庭です。細川先生と同じく同じ職場・診療科のご主人でフルタイム勤務をされています。ご主人の協力だけでなく、上司の理解・自分の専門領域・自宅の立地が働き続けられる理由とのことでした。お子さんが増えるにつれ、ご主人の家事レベルがアップしている比較表が提示されたときは会場から笑いが起こりました。

今回も多くの方にご参加頂き、座談会では大変盛り上がりました。どの先生のお話もお子さんの有無に限らず、ワーク・ライフ・デザインのヒントになったのではないのでしょうか。

ご講演頂きました先生方、ありがとうございました。

ロールモデル講演会
～みんなで考えるワーク・ライフ・デザイン～

2018. 9. 28(金) 17:00～18:30
会場 浜松医科大学医学部附属病院多目的ホール

プログラム

- 1 開会の挨拶・静岡県医師会の紹介 小林 利彦(静岡県医師会 理事)
- 2 講演会
(1) 自利利他 牧野 洋(浜松医科大学 麻酔・蘇生学講座 講師)
(2) 私のライフステージ『楽しんできたい暮らし』 細川 久美子(浜松医科大学 耳鼻咽喉科 医員)
(3) 『土曜二女と夫とメス』～多子世帯 産後、産科外科医の働き方、鈴木 希央(静岡県立総合病院 整形外科 医長)
- 3 座談会 座長 藤澤 幸子(浜松医科大学 小児科 講師)
小倉 真文(浜松医科大学 乳癌外科 病院講師)
- 4 閉会の挨拶 戸金 新樹(女性医師支援センター センター長)

申込/お問合せ
氏名・所属をご明記の上、下記までご連絡ください。
当日はお弁当をご用意しています。
無料配布あります。ご希望の方は申込み時にお知らせください。(配布終了9/21)

TEL&FAX 053-435-2380
E-mail dr-info@hama-med.ac.jp

共催 静岡県医師会・浜松医科大学女性医師支援センター
ふじのくに女性医師支援センター



◀ キャリア支援シンポジウム ～ともに考える静岡県医療の現状と未来～ ▶

日時	平成31年3月17日(日)
会場	ホテルアソシア静岡
参加者	医師24名 その他11名

【概要】

今回は特別講演として香川大学皮膚科学講座講師の中井浩三先生に特別講演をしていただきました。内科医の奥様との家庭の話や人が少なくなっていく医局の中で何がこれから必要なのか考えながら新しい医局作りを進めているお話をご講演頂きました。たとえ話を交えて笑いを誘いながらも訥々とされ、これは遠い医局の話ではなく、私たちの周りでも意識しなければいけない姿勢ではないかと考えさせられました。

基調講演では伊東市民病院の田中まゆみ先生から女性医師が患者ケアの質を向上させる具体的なエビデンスを示しつつ、産後復帰をされた女性医師の支援の例を提示して頂き、女性医師のキャリア支援が病院全体の患者ケアの質を向上させる考え方をご提案いただきました。

静岡厚生病院の水野伸一先生は病院の理念として患者からも職員からも「愛される」職場作りとしての取り組みや、多様な働き方の提案、また日々の研鑽の時間も仕事や家庭と同率に大切というコンセプトから「ワークライフスタディバランス」を推進する課題と取り組みについてご発表頂きました。

中東遠総合医療センターの宮地正彦先生からは静岡県、特に中東遠地区の現状とその対策として若い学生や研修医への教育の姿勢、医師不足や時間外労働という女性医師に限らない職員全体の問題を現状把握と職員共通の認識による対策を具体的に示し、お互いがお互いをリスペクトし補いあうタスクシェアの重要性をご発表頂きました。

女性医師への働き方への対応として、研修や教育については男女差別なく、妊娠から育児期については無理をさせない配慮、そのためのタスクシェアやパートナーシップという考えが今後の課題であると考えさせられる3人の先生のご講演となりました。パネルディスカッションではご講演頂いた4名の先生方にフロアからも質問が出され活発な議論が交わされました。2時間半と言う時間が和やかな雰囲気の中、あっという間に過ぎました。



交流会

◀ふじのくに女性医師交流会▶

日時	平成31年3月8日(金)
会場	ペガサート3階CSA会議室B
参加者	医師9名

【概要】

静岡市内の病院から8名、東部地区から1名の先生が参加してくださいました。初めに女性医師連絡協議会の委員である野々木宏先生のご挨拶と自己紹介から始まり、ふじのくに女性医師支援センターの1年間の活動報告と県立総合病院の森先生から病院内の子育て支援の取り組みとアンケート調査報告が続いたのち、交流会が始まりました。

20代から60代までの多彩な年齢の先生たちが自己紹介と普段の診療状況やこれまでの経験、キャリアを積むにあたって考えていることなどを発表して下さいました。子育てをしながら仕事を続けていけることに感謝しつつも、更にキャリアを積む為に苦労した事、もっと何かができるのではないかという悩み、サポートをしてくれる人を自分の周りに複数確保することの難しさ、病児や学童のお子さんを抱えたときにどうすれば良いのか、フルに働ける時・そうでない時の仕事に対する責任の持ち方など、どこかから投げかけられる質問に誰かが答えていくといった様子で話が弾みあつという間の1時間でした。今回の会では年齢も多彩でしたが、専門科も腎臓内科・内分泌内科・皮膚科・放射線科・耳鼻咽喉科・整形外科・産婦人科と様々な診療科の医師が集まり、お互いの科の情報交換もできました。静岡県の複数の地域でこのような年齢・診療科を超えた交流ができるようになればこれからキャリアを積んでいこうとしている若い先生たちの支えとなっていくのではないかと改めて考えさせられた会となりました。

**ふじのくに
女性医師交流会**

2019年
3月8日(金)
18時30分
~19時30分

場所 ペガサート3階
CSA会議室B
(静岡市葵区御幸町3-21)

静岡市内開催
託児あり
(要)申込

プログラム

- 開会挨拶
- ふじのくに女性医師支援センター活動報告
- 静岡県立病院機構の取り組み
- グループ討論
- 閉会

会場までのアクセス

お問い合わせ先
ふじのくに女性医師支援センター相談窓口
(静岡県立病院機構内)
〒420-8527 静岡市葵区北安室4-27-1
TEL: 054-200-1622
メール: honbu-jouhe@shizuoka-pho.jp
担当 上原(かみしま)



学生支援

◀学生・研修医・医師交流会 はまキャリ 2018▶

日時	平成30年7月27日(金)
会場	浜松医科大学看護学科棟
参加者	学生16名、医師13名

【概要】

今年度は学生1名と医師3名の方がお子さんと一緒に参加してくださり、とても賑やかな交流会となりました。

昨年のアンケートで交流時間が少ないとコメントがあったので、今年は少し長めに時間をとり、途中で席替えをしました。最初は少し緊張気味の学生さんたちでしたが、段々と打ち解けてどのテーブルからも笑い声が聞こえました。

今年も「復帰はいつ頃がベストなのか」「当直はいつから始めたのか。」「出産のタイミングはいつ頃が良いのか。」等々、沢山の質問が出ていました。この頃は在学中からライフイベントを意識している学生さんが多いので、実際に働いている先生に直接お話を聞く機会を提供することは重要だと感じています。毎年、どんな形で開催すると良いのかと悩みますが、ざっくばらんに話せる雑談形式が今のところ良いようです。

また、来年もより良い会になるよう考えていきたいと思えます。ご協力いただいた先生方、ありがとうございました。

学生・研修医・医師交流会
はまキャリ 2018

仕事と家庭の両立は大変?!
医師としての結婚ってどう?
専門医を取ってからどう働く?

自分のキャリアプランを
デザインしてみませんか?
先輩医師がお答えします!

日時 7月27日(金)
14:45~16:10

会場 浜松医科大学 看護学科棟2F
中講義室

対象 医学生・研修医・医師

お一人でも友達同士でもパートナーと一緒にでも
大歓迎★
雑談形式でお茶とお菓子をご用意しています。
男性医師も参加します!

申込 締切: 7月20日(金)
申込先: 電話 053-435-2510
Eメール dr-infoshama-med.ac.jp

主催: 浜松医科大学女性医師支援センター
ふじのくに女性医師支援センター



◀ 学生講義 ▶

ライフイベントやキャリア形成について、学生のうちから考えられるよう講義の中でロールモデルの紹介や医師を取り巻く現状等を伝えています。今年度は2回講義を行いました。

日 程	平成30年7月6日（金）
対 象	医学生6年生 109名
講 師	谷口 千津子 「ライフイベントをプラスに変える！ ～働く側・支える側 それぞれのメリット～」

【アンケートより】

・ライフワークバランスやキャリアパスなどは一緒に働いている医師との兼ね合いの中でも変わっていくものだと感じました。

お互いに助け合って、それぞれより良い道を進むことが出来たら良いと思いました。

・結婚したり、妊娠・出産したりといったイベントが遠いことだと思っていましたが、そんなことはなく自分のキャリアとどううまく両立していくか真剣に考えなければと思いました。そのうえで具体例を交えた話が聞けたのはとてもためになりました。



日 程	平成31年1月30日（水）
対 象	医学生4年生 99名
講 師	安田 日出夫（女性医師支援センター 副センター長） 【「女性医師支援」の本質は何か】 藤澤 泰子（女性医師支援センター 運営医員） 【女性医師支援～ダイバーシティの視点から】

【アンケートより】

・女性医師が働きやすい環境は男性医師が働きやすい環境でもあるということが分かりました。

・自分の好きと思える分野や長所を活かせる専門的なスキルを身に着けたいと思いました。

・女性医師支援というと男性の自分は全く関係が無いように感じていたが、講師の実体験を聞くとそんなことを言っていないのだと感じました。



相談窓口の設置

出産・育児などライフイベントによる医師としてのキャリア継続の不安をお持ちの方や、休職中の方、復職を考えている方へ就業・キャリアに関する相談窓口を開設しています。

対応者	コーディネーター 2 名（専任医師 1 名、専従事務員 1 名）
開設時間	平日 9 時から 17 時まで

センターの活用

センターでは畳スペース・ソファスペース・テーブルスペースを自由にご利用いただくことが出来ます。カーテンで仕切り体調不良時の休憩や搾乳として利用したり、一時的な保育スペースとして活用いただいております。大学に所属する医師だけでなく、これから復職を考えている方や他の病院に勤務されている方等、どなたでもご利用いただけます。



マタニティ白衣の無料貸出し

ふじのくに女性医師支援センターと浜松医科大学女性医師支援センターの共同事業です。産前休暇を取得するまで仕事のモチベーションを保ちながら、快適に業務に携わることが出来るようサポートしています。

利用者	大学
医師	3名

【利用者の感想】

◆医師（外科）

今回、女性医師支援センターよりマタニティ白衣をレンタルさせていただきまして、ありがとうございました。肌寒く感じる季節になり、お腹もだんだん大きくなってきた妊娠7ヶ月目にお借りしました。産休までの期間を考えると、レンタルすることができたのはとてもありがたかったです。試着もでき、院内で白衣の洗濯もしていただけるので助かりました。実際に着てみると、着心地がよくて、動きやすく、快適に働くことができました。もう少し早く借りておけばよかったなあと思いました。

◆医師（小児外科）

お腹が目立ってきた6ヶ月目からお借りしました。初めてマタニティ白衣をレンタルしたのですが、アジャスターがついているので調整ができ、とても重宝しました。ありがとうございました。あと、白衣の他にマタニティパンツがあると、とても嬉しいです。パンツは通常タイプの大きいサイズでは裾が長すぎてしまい、代用できないので検討していただけると助かります。是非、ご検討をお願いいたします。

マタニティ白衣の無料貸出し

県内全地域対象！

マタニティ白衣の特徴

- ふじのくに女性医師支援センターと浜松医科大学女性医師支援センターの共同事業です。
- 産前休暇を取得するまで仕事のモチベーションを保ちながら、快適に業務に携わることが出来るようサポートしています。
- 肌寒く感じる季節になり、お腹もだんだん大きくなってきた妊娠7ヶ月目にお借りしました。
- 産休までの期間を考えると、レンタルすることができたのはとてもありがたかったです。
- 試着もでき、院内で白衣の洗濯もしていただけるので助かりました。
- 実際に着てみると、着心地がよくて、動きやすく、快適に働くことができました。
- もう少し早く借りておけばよかったなあと思いました。

規格（標準サイズとの比較）

サイズ	身長	バスト	袖口	袖丈
標準S	95	97	38	55
マタニティS	90	112	50	54
標準M	100	101	39	55
マタニティM	95	136	39	54

●2枚1セットでレンタルします。
※標準サイズは浜松医科大学の白衣サイズを掲載しています。

レンタル方法 ※郵に限りがある為、ご希望に添えない場合がございます。

- 申込書にご記入いただき、メール又はFAXで窓口へ提出。
- 在庫確認後、ご連絡いたします。
- 窓口で直接お渡し、又は郵送となります。

返却方法

クリーニングを済ませた白衣を窓口へ直接お持ちいただくか、郵送でご返却下さい。（返却時の送料はご負担ください）

センターに
来れる方は試着が
可能です。

お問い合わせ・申し込み

浜松医科大学女性医師支援センター
〒453-8592 浜松市東区平田3-1-20-1
TEL/FAX 053-435-2580 E-mail: dr_inf@hama-med.ac.jp

ホームページから申し込み
http://www.hama-med.ac.jp/infocenter/

協働事業 浜松医科大学女性医師支援センター・ふじのくに女性医師支援センター

広報活動・情報発信

ホームページ

【概要】

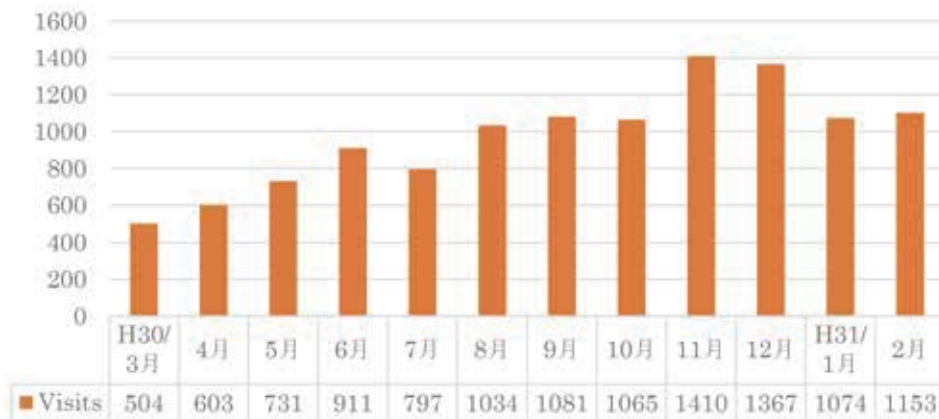
静岡県内で活動する女性医師の就業や子育てに関する情報とふじのくに女性医師支援センターの取組を掲載するホームページを平成 30 年 2 月に開設しました。医師としてのキャリア形成や仕と家庭の両立を希望する女性医師が医療機関情報や地域の子育て支援情報をインターネット上で容易に収集できることで県内での就業復帰を後押しすることを目的としています。

ふじのくに女性医師支援センターホームページ

<https://www.fujinokuni-w.jp/>



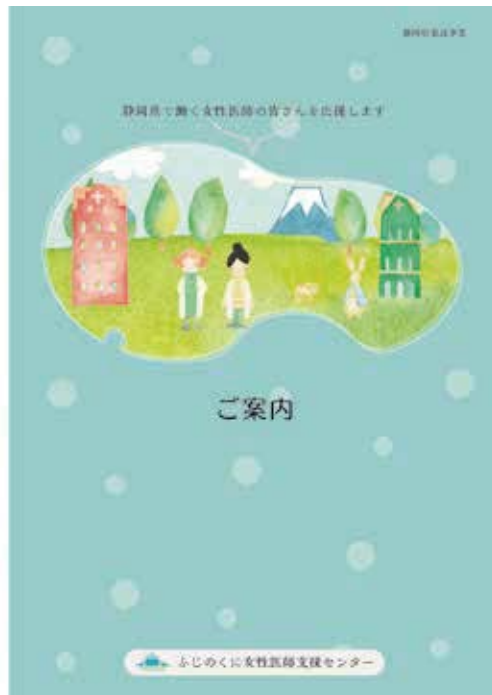
ホームページアクセス数





アクセス数は Webalizer ソフトを使用し、30 分以内の同一 IP を除いた訪問者数をカウントしています。

パンフレット作成・配布

広く周知をするため、パンフレットを作成し県内医療施設181施設と浜松医科大学の卒業式・入学式、各イベントにて配布しました。



メディア掲載

<p>毎日新聞 朝刊</p>	<p>平成30年4月30日 ふじのくに女性医師支援センター 開設1年 子育て中の女性医師復帰 平成29年度の活動について取材を受けました。 公開サイト：毎日新聞公式ホームページ https://mainichi.jp/articles/20180430/dtl/k22/040/118000c</p>
<p>リクルート ドクターズ キャリア</p>	<p>平成30年7月号 「静岡県特集」にてセンターの取組を紹介しました。</p>  <p>(リクルートドクターズキャリアより転載)</p>
<p>毎日新聞 朝刊</p>	<p>平成30年9月5日 クローズアップ2018 医学部入試文科省調査の記事において谷口医師がコメントしました。 公開サイト：毎日新聞公式ホームページ https://mainichi.jp/articles/20180905/ddm/003/100/042000c</p>
<p>ジェイズ vol.1</p>	<p>順天堂大学医学部附属静岡病院広報誌「ジェイズ」vol.1 平成30年秋 自分らしい生き方・働き方 ～Jを支える女性医師～ 順天堂大学医学部附属静岡病院の女性医師3名と座談会を開催しました。 詳細はP14へ</p>
<p>NHK ラジオ第1</p>	<p>平成31年2月11日放送 ジャーナル Note 「追跡 女医の働く現場で」 谷口医師が荒木美和アナウンサーの 取材を受けました。</p> 



講演会・シンポジウム等での発表

平成30年7月17日

谷口千津子「静岡県の女性医師支援について」

静岡県議会議員（医療、介護、保育等に関する厚生委員会委員）10名、健康福祉部等関係事務局職員4名が来学しました。サポート体制、活動内容を説明しました。

平成31年1月10日

谷口千津子「ふじのくに女性医師支援センターの活動状況について」

平成30年度 静岡県医師会 勤務医委員会、
ワークライフバランス ワーキンググループ「合同協議会」
ホテルセンチュリー静岡 5階「サルビア」

平成31年1月27日

谷口千津子「女性医師支援：静岡県内の課題と取組み」

平成30年度「拡大医療改革委員会」兼「産婦人科医療改革 公開フォーラム」
フクラシア東京ステーション 会議室H

平成31年3月17日

谷口千津子「ふじのくに女性医師支援センターの取組とアンケート調査について」

キャリア支援シンポジウム「ともに考える静岡県医療の現状と未来」
ホテルアソシア静岡 4階カトレア

その他

◆参加

平成30年5月12日、13日

日本産科婦人科学会第70回学術講演会

招聘講演 野田聖子「女性が健やかに輝き続ける社会へ」

仙台国際センター会議棟 2F 第ホール

指導医講習会

男女共同参画・ワークライフバランス改善委員会／産婦人科未来委員会共同企画

「今の時代の働き方 医師が辞めないチームを作る」

仙台国際センター会議棟 2F 第ホール

平成30年7月9日

第54回日本周産期・新生児医学会学術集会

女性医師が学会運営に携わることを推進するWG主催のカフェ

東京国際フォーラム ホールE

平成30年11月11日

日本医師会女性医師支援センター事業 中部ブロック会議
名古屋マリオットアソシアホテル 16階

平成30年11月2日

全国医学部長病院長会議（AJMC）『女性医師等キャリア支援連絡会議全国会議』
東京医科歯科大学 M&D タワー鈴木章夫記念講堂

平成30年12月9日

平成30年度女性医師支援担当者連絡会
日本医師会館大講堂

◆ブース出展

平成31年3月21日

静岡県医師臨床研修・専門医研修病院合同説明会
グランシップ



28 アクセス・発行について



平成30年度ふじのくに女性医師支援センター活動報告書

発行 印刷日 3月22日

発行 3月29日

発行所 ふじのくに女性医師支援センター

〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山1-20-1

浜松医科大学医学部附属病院女性医師支援センター内

電話/FAX 053-435-2380

E-mail dr-info@hama-med.ac.jp

URL <https://www.fujinokuni-w.jp/>

編集 センター長 戸倉新樹

コーディネーター（医師）谷口千津子

コーディネーター（事務）袴田菜穂子

浜松医科大学病児・病後児保育室『ふわり』について

【保育室概要】

- 開所 平成 29 年 8 月
- 部屋数 保育室 1 室・隔離室 1 室
- 職員構成 保育士 2 名・看護師 2 名

【保育室見取り図】

保育室
室内でも長時間、楽しく過ごせるようおもちゃや本が充実しています。床暖房があります。

隔離室
かわいい壁紙のあるお部屋です。感染の疑いがある場合は扉とカーテンで仕切ります。

入口
広い廊下にはかわいい掲示がたくさんあります☆

事務スペース
入口右手にあります。こちらで受付をいたします。

手洗いスペース

トイレ
大人用・子ども用あります。

調乳室 保育室 隔離室 受付 トイレ

【利用条件】

- 利用対象者 本学全職員・大学院生の児童
- 利用年齢 生後6カ月～小学4年生まで
- 利用日 月曜日から金曜日まで
- 利用時間 8：00～17：30
- 保育定員 1日当たり3名
- 利用料金 1日2,000円、半日(午前枠13:00迄/午後枠13:00以降)1,000円
- 昼食・補食 500円

【利用実績】

期間	平均
2017年度 (8月～3月)	0.98人
2018年度 (4月～3月)	1.19人
2019年度 (4月～10月)	1.59人

【特色】

- 小児科医師が一日1回回診
- 時間外での受診が可能（ファストパス）

アンケート報告&職員紹介

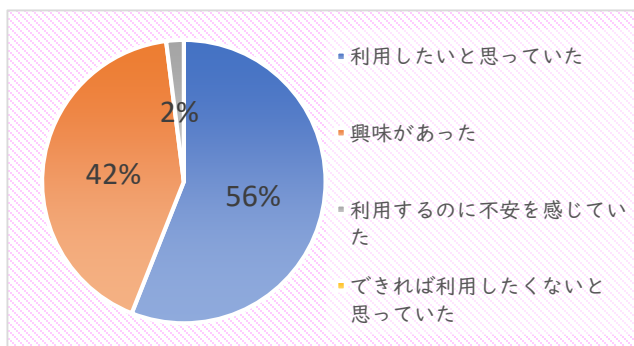
アンケートにご協力いただきありがとうございました。
一部、抜粋して報告させていただきます。

実施日：2018年8月
対象者：病児保育室登録者



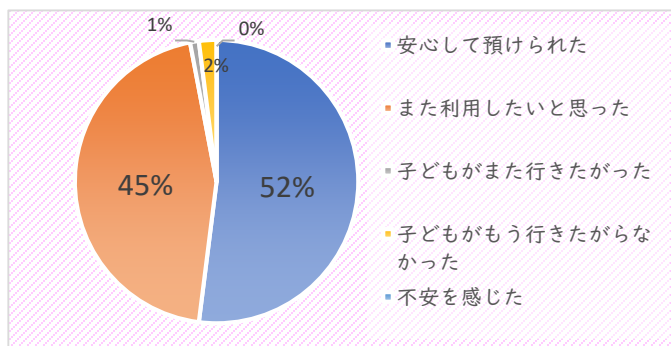
利用前、当施設に

どのような印象を持っていましたか

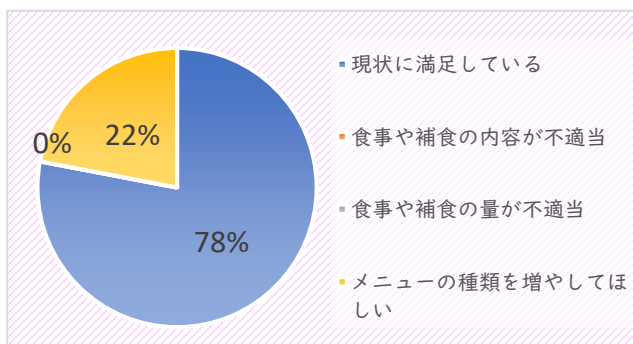


実際に利用して

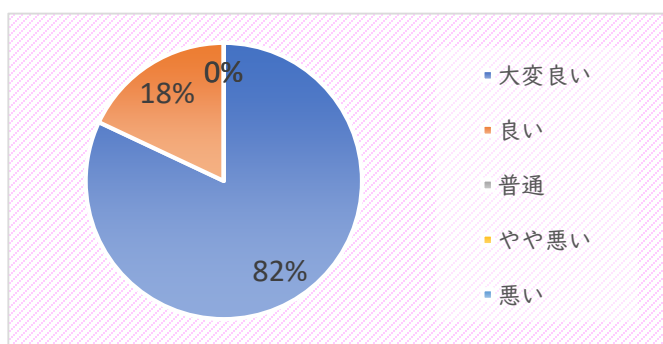
どのように感じましたか



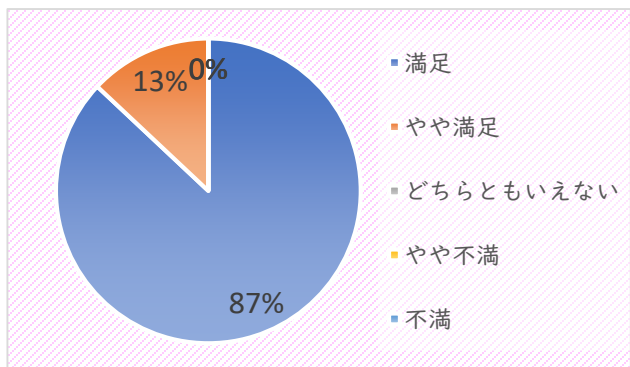
保育室で用意した給食について どのように感じましたか



スタッフの対応はいかがですか



サービス全体の評価



アンケートの中で特に要望が多かったのは **定員や利用時間を増やしてほしい**との回答でした。この要望に関しましては、今後、さらに需要が高まれば、検討していきたいと思っております。お忙しい中、アンケートにご協力ありがとうございました。

集計はホームページに掲載しています。

病児・病後児保育室ふわり
アンケート集計報告
実施日：2018年8月～1月
ご協力いただきありがとうございました。

兵永 めぐみ (看護師)

- ①料理(勉強中)・温泉旅行
- ②いつも子ども達の優しさや笑顔にパワーをもらってます。職員の方に安心してお子様を預けれる場所になるようスタッフで協力し合い頑張ります。今年度も宜しくお願いします。



小田 友香 (保育士)

- ①フットサル・子どもたちのサッカー応援
- ②開所時からこちらにいますが、日ごとに違うお子さんをお預かりする為、毎日が新鮮で楽しいです。少しでも『楽しかったよ!』と思ってもらえるような環境づくりを心掛けています。

職員紹介

- ①休日の過ごし方
- ②自己紹介

後藤 みゆき (看護師)

- ①アウトドア・沖縄旅行
- ②8歳、5歳の2児の母です。看護師歴18年。急性期病院で交替勤務をしていました。子どもの発熱、体調不良で働くこともままならない時期を自身も経験してきました。働くパパ、ママが安心して就業を継続できるように支えていきたいと思っています。



中島 圭子 (保育士)

- ①キャンプ・ドライブ
- ②小6の娘の母です。保育士歴20年。児童福祉施設や介護施設、子育ての経験を生かして子どもたちが笑顔いっぱいになる場所をつくっていききたいと思います。宜しくお願いします。

平成30年度 登録 152名
67名の方に292回ご利用頂きました

昨年度はたくさんの方にご登録、ご利用頂きありがとうございました。
利用人数の関係で受け入れの希望に沿える事が出来ない時もあり、ご迷惑をおかけしました。
今年度もどうぞ、よろしくお願い致します。 随時、新規登録受付中です!

お問い合わせ

☎ 053-435-2699
(内線:2699)

🏠 受付時間 7:30~18:00(月~金)
✉ fuwari@hama-med.ac.jp

MAP

外来棟



👉 ホームページ

施設紹介や利用方法をはじめ、登録・利用に必要な書類がダウンロードできます。



👉 blog

翌日・当日の空き状況が確認できます。時々小児科医のコラムも掲載しています。

搬入口